

文教厚生委員会会議録

平成23年10月11日(火)

午後2時38分 開 会

○山田清一委員長

文教厚生委員会を開会します。

閉会中の調査事項についてを議題とします。県外視察後の意見集約を行います。視察を終えて皆さんから、感想や意見を提出していただきました。本日、お手元にお配りしておりますのでごらんいただきたいと思います。この場では、レポートに書けなかったことなどを伺えたらと思いますし、半田市ではこういう取り組みをしたらどうか、ということも追加でありましたらご発言をお願いします。

しばらく休憩します。

午後2時41分 休 憩

午後2時43分 再 開

○山田清一委員長

委員会を再開します。

○石川英之委員

山口デイサービスセンターについては、ああいう施設があるといい。みんながそこへ行けということではなく、そういう施設もあり、違った形の施設もあり、市民の皆さんの選択肢が広がるような施設があることはいいと感じました。和歌山市、橋本市は、同じわかやまシニアエクササイズだが、取り組みとしては橋本市がずば抜けて頑張っておられる。もし半田市でも、有脇で取り組みということであれば、何としてでも取り組みたいと思いました。

○渡辺昭司委員

山口デイサービスセンターは素晴らしい施設でしたが、半田市ですぐにできるかということかと思いました。和歌山市はいいプログラムがあるけれどもうまく利用できていないという感想です。橋本市は、地域の方にいかにやってもらうかということ、そして地域の中でのリーダー的存在の方を探してやっていってもらうということ、長いスパンで見れば、体操だけでは長続きしないということでしたので、いかに行政がフォローしていくのかということの中で、地域での広がりやをどう持たせていくか、ということや半田市でもやってみる価値があると思いました。

○山内悟委員

山口デイサービスセンターにプールがあるのには驚き、採算が合うのかどうか疑問です。民間ですので、あえてバリアをつくって、一日楽しめるメニューも盛りだくさんで、リスクを承知の上でやっているのが面白い取り組みだと思いました。半田市でもそういう勇気のある団体があれば、ぜひ半田市でも欲しいなと思いました。見学料がかかったのに驚きました。研修コースは5,000円、一日コースは2,000円だそうで、視察が多いということも含めてビジネス化していると感じました。テレビやマスコミで取り上げられるだけのことはあると思いました。和歌山市は皆さんと同じです。橋本市は面白かったです。北名古屋でも同じですが、そこで知り合った方々が卒業してからもつき合っている、そこで新しいコミュニケーションが生まれているんです。おそろいのTシャツなども作って、連帯感が生まれているようです。わかやまシニアエクササイズの橋本市版の成功というだけではなくて、そ

れを通じて新しいコミュニケーションが生まれて活性化につながっている、これが長続きの秘訣だと思いました。

○中村宗雄委員

半田市としても介護予防の取り組みとして、高齢者筋トレを来年からでもやってみたらどうかと思います。実施にあたっては、仕組みの完成度よりも人と人のつながりを原動力にしていけないとできないだろう。市の職員が目的意識をもって介護予防をきっかけに地域に入り込むという発想がないとだめだろうと思いました。まあ、出前委員会などでこういう団体と事例紹介するのも面白いだろうと思いました。夢のみずうみ村は、デイサービスというより高齢者娯楽施設かなと、利用者は楽しんでいるということで、自由と放置は紙一重で難しいところだと思いましたが、利用者にとってデイサービス施設の選択肢が増えることは有益なことだと思います。和歌山市については、どんな素晴らしいプログラムや助言者がいても職員のやる気がなければだめだ、逆にやる気があればどんなことでもできるんだということが分かりました。介護予防事業の成果と評価をカネという単位で表せという、その事業はとん挫するという事も学びました。評価基準はこんなところに持たない方がいいのではないかと思います。橋本市は、職員の意識が、国や県の何か言ってくる人たちよりも高齢者に向いていることが素晴らしい。事業の成果と評価をしないと割り切っているのが、継続している要因だろうと思いました。介護予防はあくまでもツールとして、地域に入り込むんだという意識を持ってやれば必ず成功するだろうし、介護予防をやろう、と思ってやるというまでたってもゴールに行けないのかなと感じました。

○竹内功治委員

夢のみずうみ村に関しては、行政が責任をもって行う事業ではないと思いましたが、男性も多い施設ですし、施設の選択肢の一つとしてはいいと思いました。橋本市は、地域交流との連携が考えられて取り組まれているし、半田市でも橋本市を参考に進めてもいいかなと思いました。

○成田吉毅副委員長

夢のみずうみ村は、知り合いが山口にいまして、地元ではいい評判はないということも聞いていたのですが、そうでもなくて、高齢者の選択肢が増えるということではいいと思います。法律ぎりぎりのところでやっているなという印象を受けました。和歌山市と橋本市は、和歌山市に先に行ったことで予習にもなって、橋本市の事例がよく分かりやすく勉強できました。最終的には人と人の熱意が大事なんだと理解しました。橋本市の課長補佐の方が、あの部署に移って最初の2~3年はデスクに座ったことがなくて、施設や地域に足を運んで回っていたというようなことを聞きました。どうして和歌山市がうまくいってないのかと聞いたら、和歌山市はやっている人に対してしか目を向けていない、橋本市はまちを良くしたいという意味合いで介護予防に取り組んでいるようで、半田市でもできるのではないかという印象を受けました。

○山田清一委員長

皆さまからいただいた意見、また事前に提出していただいたレポートを、今後の委員会報告等に活かしてまいりたいと思います。視察に随行していただいた地域福祉課長にご意見等を伺います。

○杉浦地域福祉課長

3 日間ありがとうございました。各委員さんがおっしゃったと同じような感想を持っております。橋本市の職員の方の言葉で印象に残ったことがあります。橋本市は、高野口町と合併し、高齢者が合併しても何もいいことがなかったという中で、介護予防は自分のためにするのだから市から支援をもらうなんてことはしてはいけないという気持ちにさせた、職員のハートが成功の鍵だということでした。地域で介護予防を展開するには、いかに市の職員が最初に手を入れ、力を入れ、立ち上げをいかに支援するか、ではないかと反省をいたしました。半田市でも保健センターの健康体操等で、パーツはたくさんあります。地域ふれあい会という介護予防を図っている会もあります。そういったところを上手に使って、今後活動ができないかという思いです。

○山田清一委員長

次に移ります。今後の予定ですが、県内視察を行いたいと思っております。しばらく休憩します。

午後 2 時 5 5 分 休 憩

午後 2 時 5 9 分 再 開

○山田清一委員長

委員会を再開します。

県内視察を 12 月 21 日（水）で視察先と調整してまいります。

他に何かありませんか。

○山内悟委員

基本条例で各委員会も市民との意見交換の場を設けていこうということですので、せっかくですので閉会中のテーマでやったらどうかと思いますがいかがでしょうか。

○山田清一委員長

おでかけ委員会を行っていきたいと思っております。タイミングは、県外視察、県内視察を終えてからを考えています。閉会中のテーマに沿った形で、年明け 1 月か 2 月になると思います。この件についても、ご意見があれば伺いたいと思います。現段階では、より地域に入っていける方がいいかなと思っておりますので、情報収集してまいります。

他にありませんか。

【発言なし】

ないようですので、文教厚生委員会を閉会します。

午後 3 時 0 5 分 閉 会